

前回専門会議の意見整理

(1)施設配置について

- ・施設配置は、現在提案があるものをベースに検討を深める方向性でよいのではないか。

(2)その他

- ・バリアフリーの観点から、温泉の浴槽は一定程度の広さが必要ではないか。また、貸切風呂の数や、外から利用出来る手洗い場の設置、駐車場から温浴施設まで雨に濡れずにアクセスできる動線の検討など、子ども連れの方や障がいのある方、高齢者の方などにも利用しやすい施設となるよう検討を深めるべきではないか。
- ・温泉の休憩室は、温浴施設棟に配置した方がよいのではないか。また、温浴施設は、寿泉荘の規模を維持するべきではないか。
- ・温浴施設に湯田温泉の歴史や文化が感じられるような内装をとり入れるべきではないか。
- ・温泉熱の活用に加え、太陽光発電の設置についても検討すべきではないか。
- ・2階のデッキスペースの使い方と適正な面積について検討を深める必要があるのではないか。
- ・地場木材をしっかりと活用するべきではないか。
- ・風の影響について、より詳細な検討をすべきではないか。(防音壁開放時の風の通り抜け、屋根への影響)
- ・施設への市民の愛着醸成につながるよう、施設整備の検討段階から、市民(施設利用者)が参画する仕掛けづくりを検討すべきではないか。
- ・県道204号北側のにぎわい創出に向け、本施設と県道の回遊性向上等について検討すべきではないか。